

量子暗号通信

～盗聴が理論上不可能な量子暗号通信システム～

株式会社東芝は、ゲノム解析データを、量子暗号通信システムにより暗号化し、7 km 先の東北大学 東北メディカル・メガバンク機構まで送信する実証試験を開始しました。量子暗号通信は、光子の量子力学的な性質を利用することにより、盗聴されることなく、通信の両端で暗号鍵を共有できる通信手段です。実データを用いた量子暗号通信システムの実証試験は、国内初となります。

今回、(株) 東芝から3名の方々にお越しいただき、量子暗号通信技術についてお話しいたします。

開催日：2015年9月28日 [月曜日]

時 間：18：15～19：15（開場：18：00）

会 場：東北大学医学部6号館 カンファレンスルーム 1

題目 「東芝の量子暗号通信技術」

発表者 佐藤 英昭 氏(主任研究員)

所属 (株) 東芝 研究開発統括部 研究開発センター ネットワークシステムラボラトリー

題目 「量子暗号通信システム システム構成について」

発表者 田中 康成氏(主査)

所属 東芝ソリューション (株) 官公ソリューション事業部 事業推進部

題目 「量子暗号通信システムにおける情報セキュリティと

システム運用の取り組み」

発表者 源島 朝昭氏(参事)

所属 (株) 東芝 インダストリアルICTソリューション社

IoTテクノロジーセンター システム&セキュリティ技術部

お問い合わせ：東北メディカル・メガバンク機構 広報・企画部門

TEL：022-717-7902 FAX：022-717-7923 E-mail：pr@megabank.tohoku.ac.jp

東北メディカル・メガバンク機構
TOHOKU MEDICAL MEGABANK ORGANIZATION

